

第5回 上下水道事業経営審議会

令和4年8月2日
池田市上下水道部

目 次

1. 参考資料（池田市上下水道事業経営戦略の改定について）	1
主な改正の内容	2
①「改定の理由と趣旨」を追加	3
②「計画と決算の比較」を追加	4
③「投資目標」の文言を修正	5
④「財源目標」の文言を修正	6
⑤「投資・財政計画」の修正	8
2. 第4回審議会における事務局回答の補足説明	9

1. 参考資料
(池田市上下水道事業経営戦略の改定について)

1. 参考資料（池田市上下水道事業経営戦略の改定について）

〈主な改定の内容〉

- ① 「改定の理由と趣旨」を追加
 - ② 「計画と決算の比較」を追加
 - ③ 「投資目標」の文言を修正（水道有収率の目標達成状況）
 - ④ 「財源目標」の文言を修正（水道企業債充当率の見直し）
（水道料金・下水道使用料の改定率の見直し）
 - ⑤ 「投資・財政計画」の修正
- ※その他（年度の更新や令和表記への修正）

1. 参考資料（池田市上下水道事業経営戦略の改定について）

① 「改定の理由と趣旨」を追加（改定案P2）

経営戦略策定・改定ガイドライン（総務省通知）
「経営戦略は進捗管理を行うとともに、
3～5年毎に改定していく必要がある」

池田市上下水道事業経営戦略（現行）
「この経営戦略は進捗管理を行い、5年毎に
見直しを図る」

策定時に想定していなかった事項の発生
・豊能町への送水量減少
・大阪国際空港の使用水量減少
・コロナ禍による大口使用者の使用水量減少

平成29年の経営戦略策定時には想定していなかった事項が発生していることから、
事業の収支計画を見直し、更なる効率的な事業運営を目指して改定を行うもの。

1. 参考資料（池田市上下水道事業経営戦略の改定について）

② 「計画と決算の比較」を追加（改定案P2～P4）

上下水道事業経営戦略 第5章 経営戦略の事後検証・更新
 「見直しにおいては、戦略の実行状況、計画と実績の乖離について分析を行い、その結果を次期戦略に反映していきます。」

経営戦略策定時の収支計画、企業債残高や内部留保資金の状況について、計画と決算値の乖離についての比較・分析を行う。

①収益的収支（税抜）

（単位 千円）

年 度	H30 (2018)			R1 (2019)			R2 (2020)		
	計画	決算	増減	計画	決算	増減	計画	決算	増減
水道事業収益	2,336,935	2,462,129	▲125,194	2,338,413	2,382,753	▲44,340	2,336,721	2,209,836	▲126,885
給水収益	2,004,318	1,992,249	▲12,069	2,002,866	1,938,658	▲64,208	1,993,299	1,860,884	▲132,415
口径別納付金	111,360	218,460	107,100	111,360	208,080	96,720	111,360	136,500	25,140
長期前受金戻入	122,886	123,741	855	125,857	134,346	8,489	134,003	146,546	12,543
その他	98,371	127,679	29,308	98,330	101,669	3,339	98,059	65,906	▲32,153
水道事業費用	2,152,935	2,086,226	▲66,709	2,157,381	2,011,928	▲145,453	2,216,049	2,099,829	▲116,220
職員給与費	383,289	367,474	▲15,815	381,676	323,894	▲57,792	381,676	354,877	▲26,799
委託料	297,653	283,638	▲14,015	297,653	270,217	▲27,436	297,653	303,281	5,628
維持補修費	141,482	145,525	4,043	141,482	104,317	▲37,165	141,482	139,253	▲2,229
減価償却費	793,836	802,177	8,341	830,440	881,075	50,635	863,252	896,702	33,450
支払利息	137,869	126,832	▲11,037	124,914	121,239	▲3,675	120,770	114,035	▲6,735
その他	398,806	360,580	▲38,226	381,216	311,196	▲70,020	411,216	291,681	▲119,535
純利益	184,000	375,903	191,903	181,032	370,825	189,793	120,672	110,007	▲10,665

②資本的収支（税込）

（単位 千円）

年 度	H30 (2018)			R1 (2019)			R2 (2020)		
	計画	決算	増減	計画	決算	増減	計画	決算	増減
資本的収入	1,137,256	1,132,680	▲4,576	1,135,295	775,052	▲360,243	1,310,903	875,010	▲435,893
企業債	1,015,700	1,015,700	0	820,300	688,900	▲131,400	1,019,400	608,300	▲411,100
補助金	29,100	29,100	0	41,500	13,000	▲28,500	28,600	19,000	▲9,600
他会計補助金	-	-	-	-	-	-	-	-	-
工事負担金	92,456	87,880	▲4,576	273,495	73,152	▲200,343	262,903	247,707	▲15,196
その他	-	-	-	-	-	-	-	3	3
資本的支出	2,143,797	1,942,448	▲201,349	2,314,232	1,579,988	▲734,244	2,395,858	1,865,193	▲530,665
建設改良費	186,128	154,129	▲31,999	571,563	175,279	▲396,284	331,213	330,880	▲333
施設整備費	1,441,400	1,272,050	▲169,350	1,185,363	844,078	▲341,285	1,437,852	939,571	▲498,281
企業債償還金	516,269	516,269	0	557,306	557,306	0	626,793	593,020	▲33,773
その他	-	-	-	-	3,325	3,325	-	1,722	1,722
収支差引	▲1,006,541	▲809,768	196,773	▲1,178,937	▲804,936	374,001	▲1,084,955	▲990,183	94,772
企業債残高	8,865,561	8,865,561	0	9,128,555	8,997,155	▲131,400	9,521,162	9,012,435	▲508,727
内部留保資金残高	2,151,821	2,685,057	533,236	2,004,858	3,079,345	1,074,487	1,932,294	3,088,946	1,156,662

1. 参考資料（池田市上下水道事業経営戦略の改定について）

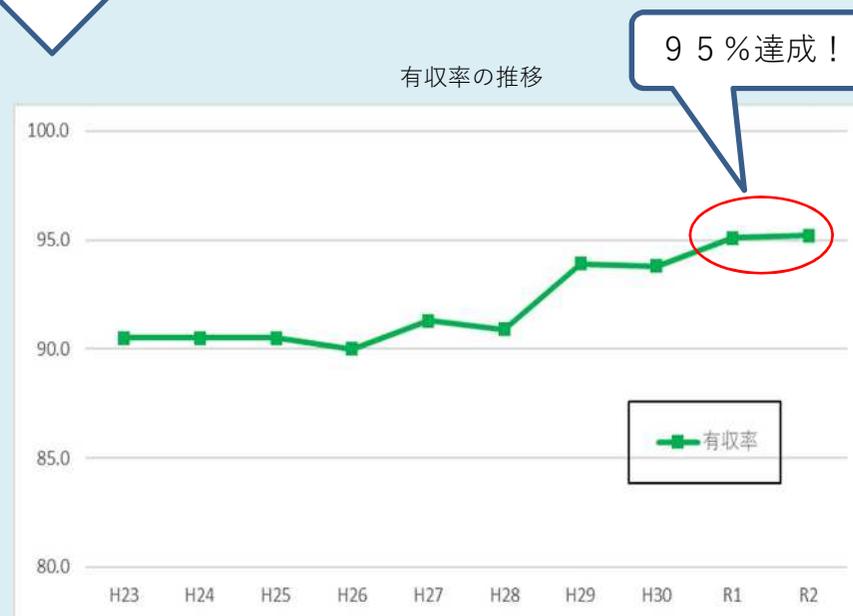
③ 「投資目標」の文言を修正（改定案P22～24）

【投資目標】

- ◎中長期的な更新費用の平準化及び延命化（アセットマネジメントに基づく40年試算）
- ◎水道事業有収率の95%達成

◎更新費用の平準化及び延命化
施設の更新基準を見直した内容
に合わせて文言を修正。
（第2回資料P7～P10参照）

◎水道事業有収率の95%達成
令和元年度に目標を達成済み。
今後も効果的な漏水調査及び修繕に努め、有収率の維持・向上
を図る。



※有収率…配水量と料金として収入のあった水量の比率。高いほど効率的。漏水等の原因を特定し、対策を講じることが重要。

1. 参考資料（池田市上下水道事業経営戦略の改定について）

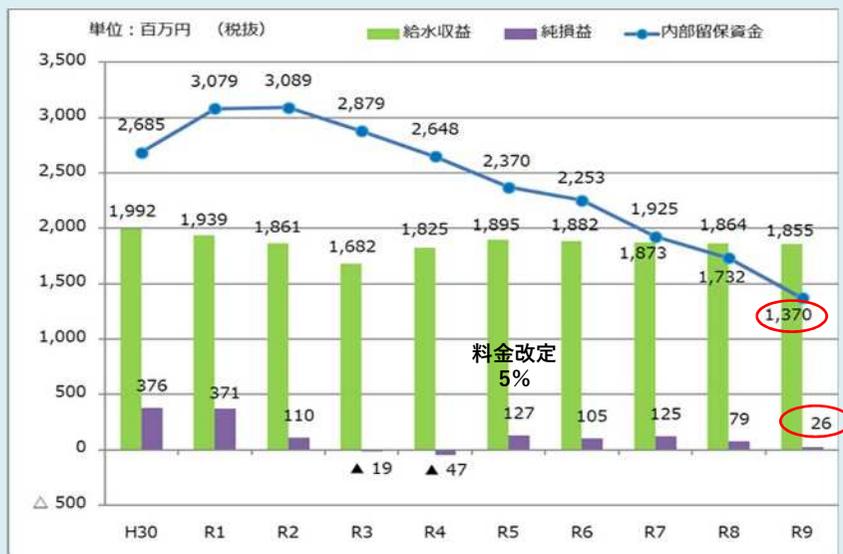
④-1 「財源目標」の文言を修正（改定案P25～26）

【財源目標】

- ◎中長期的な財政運営に必要な資金の確保（40年試算）
- ◎経営戦略最終年度（令和9年度）における損益黒字の確保

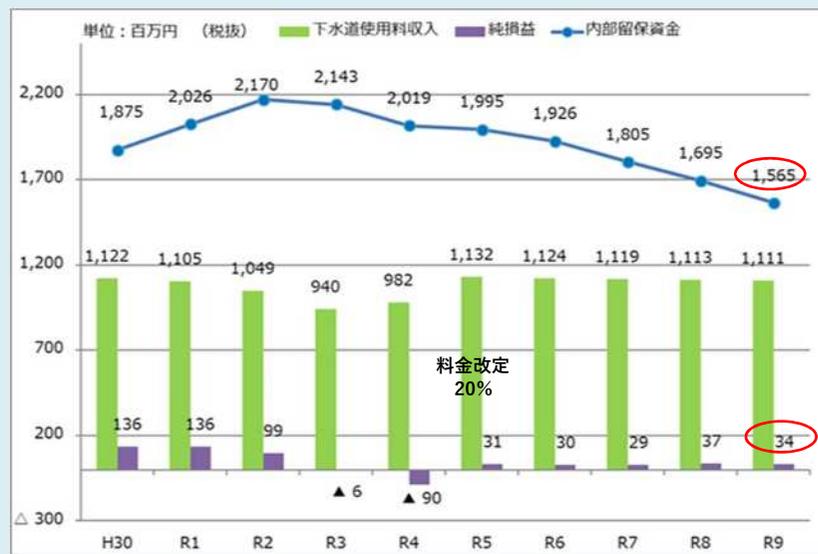
〈水道事業における目標達成のために必要な内容〉

- ・令和5年度の料金改定率5%（現行のまま）
- ・料金体系の変更（用途別から口径別へ）
- ・令和5年度以降も企業債充当率を75%に据え置き



〈下水道事業における目標達成のために必要な内容〉

- ・令和5年度の使用料改定率を10%から20%へ見直し



1. 参考資料（池田市上下水道事業経営戦略の改定について）

④-2 「財源目標」の文言を修正（改定案P25～26）

〈水道事業における企業債充当率の考え方〉

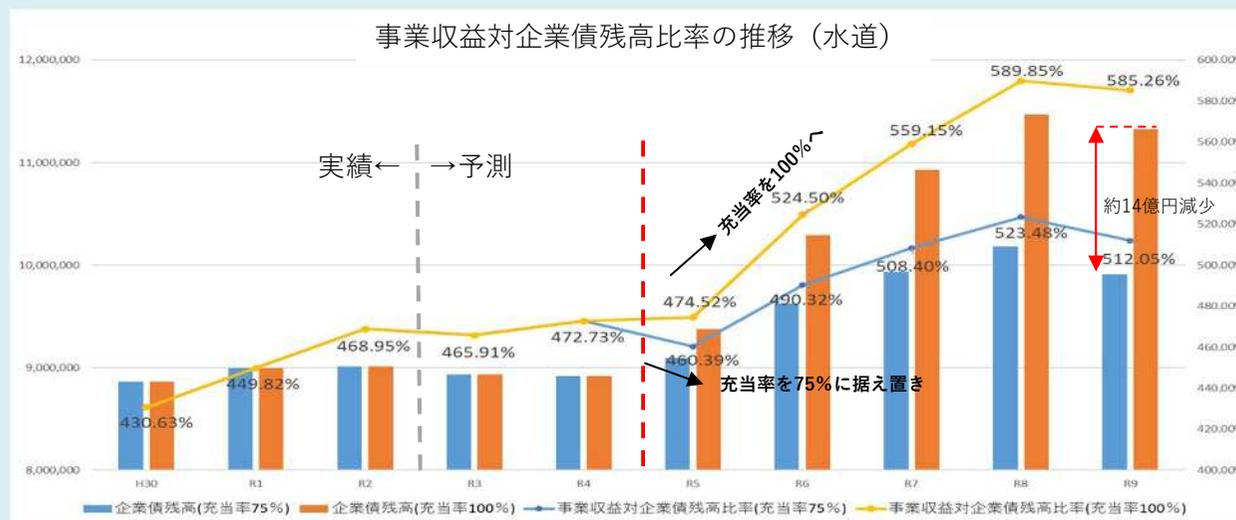
改定前

平成23年度～平成29年度・・・事業費の1/2
 平成30年度～令和4年度・・・事業費の3/4
 令和5年度～令和9年度・・・事業費の全額

改定後

平成23年度～平成29年度・・・事業費の1/2
 平成30年度～令和4年度・・・事業費の3/4
 令和5年度～令和9年度・・・**事業費の3/4**
 (据え置き)

改定の理由…当初は施設の更新に伴う資金減少に対応するため充当率の引き上げを検討。しかし、資金残高が増加していたことや企業債残高が増加していたことから資金残高と企業債残高のバランスに配慮し、令和5年度から令和9年度の充当率を3/4とした。



〈水道〉
 企業債充当率を75%に据え置くことで、企業債残高の増加を抑制

1. 参考資料（池田市上下水道事業経営戦略の改定について）

⑤ 「投資・財政計画」の修正（改定案P27～32）

経営戦略策定時点から状況に変化がある部分については前提条件を修正した上で、令和5年度から令和9年度までの計画を見直し。（主な修正点は下記のとおり）

◎水道事業の前提条件の主な修正点

収益

R2以降、大口使用者の使用量減少による収益減

- ・ R2決算(H30比較) 約▲1億4,000万円
- ・ R4予算(H30比較) 約▲1億5,000万円

〈収益減の要因〉

- ・ R1豊能町の企業団統合による減
→影響額 約▲2,000万円
- ・ R2大阪国際空港の地下水移行による減
→影響額 約▲6,000万円
- ・ その他、コロナ禍等による使用量減

大口使用者からの収入は、R4-H30比較で40%減リスク要因として、**今後もR4程度が続くと予測**

費用

- ・ 労務単価、材料価格、燃料費等の高騰
→**直近の予算額を反映**
- ・ アセットマネジメント改良版による
実更新需要を算出し、**減価償却費に反映**

◎下水道事業の前提条件の主な修正点

収益

R2以降、大口使用者の使用量減少による収益減

- ・ R2決算(H30比較) 約▲8,900万円
- ・ R4予算(H30比較) 約▲1億5,000万円

〈収益減の要因〉

- ・ コロナ禍等による社会情勢の変化による使用料減

大口使用者からの収入は、R4-H30比較で40%減リスク要因として、**今後もR4程度が続くと予測**

費用

- ・ 労務単価、材料価格、燃料費等の高騰
→**直近の予算額を反映**
- ・ アセットマネジメント改良版による
実更新需要を算出し、**減価償却費に反映**

2. 第4回審議会における事務局回答の補足説明

2. 第4回審議会における事務局回答の補足説明

今回の改定

- ・ 経営戦略の目標とする令和9年度の黒字は確保。
- ・ 経常収支比率は令和9年度まで100%を超える見込み。
- ・ 今回の主な目標は「用途別料金から口径別料金への体系変更」。

今後の課題

- (1) 水道料金回収率が100%を下回っていること。
- (2) 固定費と変動費の割合を3：7にとどめていること。
- (3) 少量使用者のランクで大きく原価割れしていること。

解決に向けた考え方

少量使用者への配慮やこれまでの料金設定の経緯を鑑みると、一般家庭の負担を大幅に増やすことは困難であるため、ボリュームゾーンの一定の値上げを含め、全体を値上げすることで改善していく。

- (1) 料金回収率については、**令和10年度の改定において達成**をめざす。
- (2) 固定費と変動費の割合、(3) 原価割れの状況については、短期的に解決することは困難であるため5年毎に料金を見直し、**複数回の改定を経て、改善していく。**